

東京都分等市のピアノリスト河野康弘さんが、招いた南アフリカ共和国の子供八人と七日午後六時半から熊本市民会館でコンサートを開く。子供たちは、黒人と白人各四人。南アは八年前まで、白人が黒人や混血の人を差別するアパルトヘイト（人種隔離）政策をしていた歴史を抱える。コンサートでは、子供たちが息の合った歌やダンスで、人種や国境の壁を越えて平和を願う。

人種や国境 超え平和を



今年3月に訪問した南アの小学校で、子供たちと歌う河野康弘さん（右）／河野さん提供。南アフリカのプレトリアで。

「歌い、踊り一つになれる」ホームステイ交流話 実行委がお世

河野さんは一九九三年から、国内で使われていないピアノを海外に贈る運動をしてきた。以来、南アをはじめケニア、パレスチナ、中国に五十台近くのピアノをプレゼントした。

この運動の一環で、九六年三月、南アの首都プレトリアの小学校を訪れ、コンサートをした。その後、二回南アを訪問。これが縁となり、昨夏、南アの子供二人と、海外のコンサートで知り合ったベルギーの子供四人を招いて、広島市などで平和を祈るコンサートを催した。

今年、南アから、十歳から十六歳までの八人が来日。三日の広島県因島市を皮切りに、十五日まで計六ヶ所で「地球ハーモニー」ツアーを行う。

コンサートでは、平和を願う曲「ドント・キル・ザ・ワールド（世界を殺さないで）」や、「ニューヨーク・ニューヨーク」といったボビージャマー音楽、南アの童謡などを、子供たちが歌い、踊り、河野さんら四人

のバンドが伴奏する。河野さんは「音楽は、言葉や国境を超えて一つになれる。日本の子供たちにもコンサートをきっかけに世界のことを知ってほしい」と話している。

熊本市での開催は、コンサートを知った同市渡鹿一丁目の英語講師、植元えり子さんが公募して決まった。植元さんらは実行委員会を結成。子供たちのホームステイ先の手配などを

備をしてきた。また、八日午後一時から熊本市産業文化会館で、子供たちとともに来日している南アの女性教師二人と南ア在住の日本人男性を囲み、座談会「南アフリカの

いまを語る」を開く。コンサートの入場料は一人三千円、小・中・高校生は二千円、幼児無料。問い合わせは植元さん（011-836-8483）へ。